

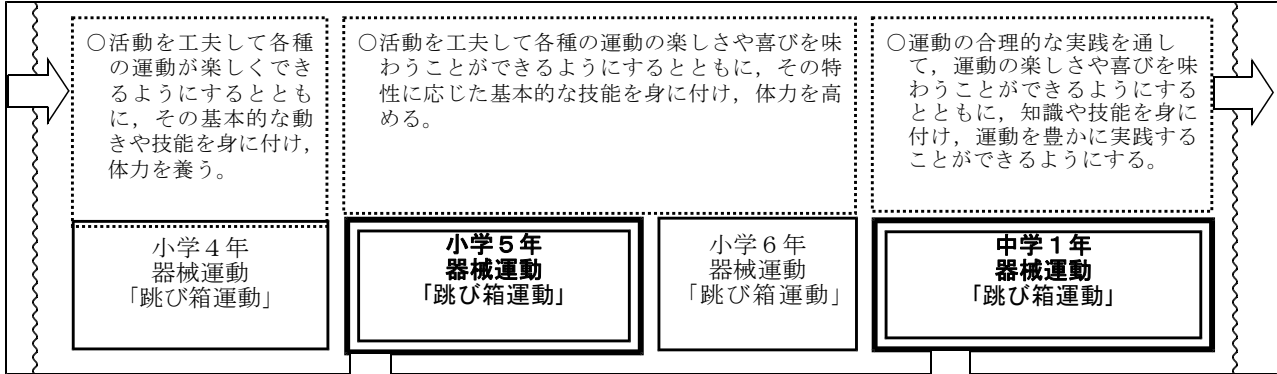
小学校第5学年 体育科・中学校第1学年 保健体育科共通学習指導案

- 1 単元名 小学校第5学年…跳び箱運動  
中学校第1学年…跳び箱運動

2 9か年の教科の到達目標

○ 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践できるようにする。

3 実践する単元の系統



4 単元目標

小学校5年	中学校1年
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己の能力に合った適切な課題を設定し、運動の特性に応じた技能を身に付けることができる。</li> <li>○ 個の学習活動や場を工夫することで、自己課題を解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各技のポイントを理解した上で、個の学習計画を立てたり、場を工夫したりして課題解決をめざすことで、運動の特性に応じた技能を身に付けることができる。</li> <li>○ 自己課題解決を目指した段階的練習内容を構築することができる。</li> </ul>

5 児童生徒の実態

児童の実態	生徒の実態
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分ができるようになりたい技を自己選択・決定し、積極的に運動に取り組んでいる。</li> <li>○ どのような流れの学習計画を立てるとよいか、どのような場作りをして学習を進めるかを考えて、自己課題解決実現を目指した活動ができるまでには至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分ができる技やできるようになりたい技を自己選択・決定でき、積極的に運動に取り組んでいる。また、友達とアドバイスし合うことに抵抗感がない。</li> <li>○ 課題解決に向けての効果的な工夫(学習計画、場、等)をすることはできるが、段階的な練習を考えると学習ができるまでには至っていない。</li> </ul>

6 指導上の課題と手だて

<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童一人一人が本時の学習の成果と課題を本時の学習で工夫した点と関連付けて明らかにし、次時の学習へとつなげるための指導が十分ではない。</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題解決を目指した自主的な活動を行うための技のポイントや場作りに関する知識面の指導が十分ではない。</li> </ul>
<p><b>【手だて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 褒めるだけでなく、課題解決のために有効だったポイントを添えた声かけをしたり、バディ同士の技のポイント見つけさせたりする。 <b>情報交換する(比較する)</b></li> <li>○ 学習の終わりに、課題解決のために効果的だったポイント(場、補助)をバディ同士で伝え合い、全体に広げ参考にさせ合う。 <b>報告する(関連付ける)</b></li> </ul>	<p><b>【手だて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ めあてを達成させるために、どのような手順で練習方法を組み立てればよいかを考えさせるために、各技のポイントを整理させる。 <b>情報交換する(構造化する)</b></li> <li>○ かかえこみ跳びを段階的に練習するための場を提示して工夫した学習活動を行うことが課題解決につながることに気付かせる。 <b>報告する(関連付ける)</b></li> </ul>

7 共通指導計画（小学5年…7時間 中学1年…10時間）

	主な学習活動・内容 □は主な振り返り場面	言語活動に関する手だて等	主な評価規準
課題把握・見通し	<b>小学4年「跳び箱運動」</b> ○ 跳び箱運動の楽しさや喜びを味わいながら、安全に気を付けて運動できる。 ○ めあて達成のために適した練習の場や練習の仕方を考えている。 ○ 自分の力に合った今できる技や新しい技に取り組み、できるようになる。 ○ 自分が取り組んだ技の基本的なポイントが分かる。		
	<b>小学5年「跳び箱運動」</b> 1 オリエンテーションを行う。 ○学習の進め方 ・学習の流れ ・準備 ・安全面 ・自分に合っためあて ・バディ ○技の財産調べ ○技のポイント 2 跳び箱運動をする。	○ 今まで習ってきた技を振り返り、新しい技を調べさせる。 ○ 代表児童の開脚跳びの試技により、技のポイントを考えさせる。 ○ 同じ技をめあてとする児童同士でバディを組ませる。	○ 今まで習ってきた技を振り返ることができる。 ○ 試技を見て技のポイントを見つけることができる。
追究・確かめ	めあて1 今できる技で、跳び箱運動を楽しもう。	めあて2 今できそうな技にちょう戦して、跳び箱運動を楽しもう。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <b>振り返り 報告する（関連付ける）</b> </div> ○ 同じ楽しみ方で楽しむ・同じ技を課題とする児童同士でバディを組む。 ○ 場の工夫・ポイントカードの活用・バディ同士で課題解決するために助言する。 3 中学1年生との合同学習会をする。 ○ 中学1年生と合同で学習をすることで、課題解決のためのよりよい学習方法を学ぶ。	○ バディ同士がめあてを達成するための活動に取り組ませる。 ○ 中学生の課題解決の活動から学んだことを練習方法の工夫へとつなげさせるために、話し合わせる。	○ ポイントカードや技ボードを見て、課題解決のための練習ができる。 ○ バディ同士で課題解決のための話し合いができています。
まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <b>（本時）振り返り 報告する（関連付ける）</b> </div> ○ 同じ楽しみ方で楽しむ・同じ技を課題とする児童同士でバディを組む。 ○ 場の工夫・ポイントカードの活用・バディ同士で課題解決するために助言する。 5 「照葉モンスターボックス」発表会をする。 ○ 自分ができるようになった技を披露する。	○ バディ同士でめあてを達成するための活動に取り組ませる。 ○ 上手になった技を全体の場で披露し、賞賛する。	○ 中学生から学んだ活動の場を参考にして、活動できる。 ○ 技ができるようになった理由を、振り返ることができる。
	<b>小学6年「跳び箱運動」</b> ○ 自分の力に合った課題をもち、跳び箱運動の楽しさや喜びを味わいながら、安全に気を付けて運動できる。 ○ 自分の力に合っためあて（技）をもち、めあて達成のために適した練習の場や練習の仕方を考えている。 ○ 自分の力に合った今できる技や新しい技に取り組み、工夫した場や練習の仕方により、できるようになる。 ○ 自分が取り組んだ技の基本的なポイントが分かる。		

	主な学習活動・内容	は主な導入場面	言語活動に関する手だて等	主な評価規準
	<b>小学6年「跳び箱運動」</b> ○ 自分の力に合った課題をもち、跳び箱運動の楽しさや喜びを味わいながら、安全に気を付けて運動できる。 ○ 自分の力に合っためあて(技)をもち、めあて達成のために適した練習の場や練習の仕方を考えている。 ○ 自分の力に合った今できる技や新しい技に取り組み、工夫した場や練習の仕方により、できるようになる。 ○ 自分が取り組んだ技の基本的なポイントが分かる。			
課題把握	<b>中学1年「跳び箱運動」</b> 1 オリエンテーションを行う。 <b>導入 情報交換する(分析する)</b> ○ 学習の進め方(基本的な流れ) ・1時間の流れ ・楽しみ方 ・準備 ・安全面 ・自分に合っためあて ・工夫した場 ・バディ ○ 技の基本的なポイントを知る。 ○ 技調べ→めあてへつなぐ。 ○ 次時からの学習の3つの工夫を知る。 ・効果的な場の工夫 ・効果的な段階的な練習の工夫 ・効果的な補助の仕方の工夫			
予想・見通し			○ 学習の見通しをもつことを意識させる。 ○ 教師が6段の縦で、開脚跳びの試技を見せ、ポイントを探る目を養わせる。 ○ 同じ(似た)技をめあてとする者同士でバディを組ませる。	○ 学習を具体的にイメージし、自分に合った課題をもつことができる。 ○ 技の基本的なポイントを探ることができる。 ○ 次時に工夫して学習する内容が明らかにすることができる。
追究・確かめ	2 基本技の練習を行う。 ※毎時間めあて1からめあて2に移行する。 スパイラル型の学習を行う。 —めあて1— 今できる技で跳び箱運動を楽しもう！	—めあて2— 今できそうな技に挑戦して跳び箱運動を楽しもう！		
まとめ	3 小学5年生との合同学習会を行う。 4 各技を獲得するための段階的な練習を組み立てる。 <b>(本時) 導入 情報交換する(構造化する)</b> ○ 各技ごとにグループを組んで話し合う。 ○ ボードに整理する。 5 発表会に向けての練習を行う。 ※毎時間めあて1からめあて2に移行する スパイラル型の学習を行う 6 「照葉モンスターボックス」発表会を行う。 ○ 自分ができるようになった技を披露する。	○ 技の達成に向けての阻害要因は何かに着目するように助言する。 ○ 技のポイントに注目させる。 ○ 各技のポイントを話し合いを通して明らかにしながら組み立てる。 ○ 前時までに作成した技ボードとパートナーの試技とを比較して、技のポイントに絞ったアドバイスをさせる。	○ 5年生児童の試技を技のポイントを意識して見て、的確なアドバイスをすることができる。 ○ 技のポイントに注目して段階的練習を構築できる。 ○ 各技のポイントを明確にした段階的練習についての考えを出すことができる。 ○ パートナーの試技と技ボードや上手な友達のフォームとを比較をして的確なアドバイスをすることができる。	
	<b>中学2年「跳び箱運動」</b> ○ 器械運動の楽しさや喜びを味わい、運動有能感を高めることができる。 ○ 自己の課題解決を目指して、効果的な場を作ったり、相互支援を行ったり、段階的な練習を構築したりすることができる。 ○ 自己の能力に適した技を選択し、個々の技ができるようになる。 ○ 器械運動の特性や技のポイントを説明することができ、仲間の試技を見て、技をよりよくできるようにするための的確なアドバイスをすることができるようになる。			

## 8 小学校第5学年 組本時の指導について

(1) 本時 (5/7) 小アリーナ

(2) 本時の目標

- バディ同士の対話を通して、今できる技のポイントを考えながら、色々な楽しみ方に挑戦し、跳び箱運動を楽しむことができる。
- バディ同士の情報交換を通して、課題解決のための練習方法を工夫しながら、できそうな技に挑戦し、跳び箱運動を楽しむことができる。
- できるようになった技や技のポイントについて発表する活動を通して、自分の技の財産へと関連付けていく力を身に付けることができる。

(3) 本時の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 <small>□は言語活動を活性化させる手段</small>	評価規準
<p>1 学習の準備をする。</p> <p>(1) 協力して安全に場作りをする。</p> <p>(2) CT (コーディネーショントレーニング) をする。</p> <p>(3) めあて1の確認をする。</p> <p style="text-align: center;"><b>対話する (整理する)</b></p> <p>___ めあて1 ___</p> <p>今できる技で、とび箱運動を楽しもう。</p>	<p>○ 安全に場作りをするように確認する。</p> <p>○ バディ同士で対話を通して、めあて1の場と楽しみ方の確認をさせる。</p> <p>___ めあて2 ___</p> <p>今できそうな技にちょう戦して、とび箱運動を楽しもう。</p>	
<p>2 めあて1の活動をする。</p> <p>(1) 協力して安全に場作りをする。</p> <p>(2) めあて1の活動を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><b>楽しみ方</b></p> <p>○高さ ○向き</p> <p>○フォーム</p> <p>○踏み切りの距離</p> <p>○着地の距離</p> </div>	<p>○ めあて1の活動を全体で確認する。</p> <p>○ 安全に活動できているか確認する。</p> <p>○ 上手になった児童を賞賛し、同じ場の児童たちに紹介する。</p>	
<p>3 めあて2の活動をする。</p> <p>(1) 協力して安全に場作りをする。</p> <p>(2) めあて2の活動を確認する。</p> <p style="text-align: center;"><b>対話する (整理する)</b></p> <p style="text-align: center;"><b>情報交換する (比較する)</b></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><b>解決するためのポイント</b></p> <p>○踏み切り ○着手</p> <p>○空中姿勢</p> </div>	<p>○ めあて2の活動を全体で確認する。</p> <p>○ バディ同士の対話を通して、めあて2の場と解決したい技の確認をさせる。</p> <p>○ バディの技を見て自分と比較したり、ポイントカードを参考にしたり、バディ同士で情報交換させたりすることを通して、技のポイントに気付かせ、できそうな技に挑戦させる。</p> <p>○ 場の工夫や、バディ同士のかかわりができている児童たちを賞賛し、活動が停滞している児童には、アドバイス・補助をする。</p>	<p>○ バディ同士でめあて2の場と、解決したい技の確認ができる。</p> <p>(学習活動の様子)</p> <p>○ バディ同士で課題を解決するために、できる児童の技を見ながら比較し、練習することができる。</p> <p>(学習活動の様子)</p> <p>○ ポイントカードや技ボードを使って、課題解決のために利用している。</p> <p>(学習活動の様子)</p>
<p>4 学習のまとめと後片付けをする。</p> <p>(1) 学習カードを記入し、学習の振り返りをする。</p> <p>(2) できるようになった技やポイントを交流し、次時の見通しをもつ。</p> <p style="text-align: center;"><b>報告する (関連付ける)</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>今日は台上前転の着手を意識して、練習をしました。バディの友達に、補助をしてもらいながら練習しているうちに、着手ができるようになって、台上前転ができるようになりました。</p> </div>	<p>○ 学習カードに自己評価をさせ学習を振り返らせる。</p> <p>○ バディ同士で相互評価をさせ、できるようになったことやポイント・解決方法を全体で報告させることを通して、自身の技の財産へと関連付けさせる。</p> <p>○ 安全に留意しながら、後片付けができているか確認する。</p>	<p>○ できるようになった技やポイントをバディ同士や全体の場で交流できている。</p> <p>(発言・交流の様子)</p>

9 中学校1年 組本時の指導について

(1) 本時 (7/10) 小アリーナ

(2) 本時の目標

- 自己の課題解決を目指して3つの工夫(場, 段階的練習, 補助)を意識して繰り返し練習に取り組んだり, 仲間に技のポイントを意識したアドバイスをすることができる。
- 選択した個々の能力に適しためあての技ができるようになる。

(3) 本時の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 <small>は言語活動を活性化させる手だて</small>	評価規準
<p>1 場の準備をする。</p> <p>2 準備運動・CT(コーディネーショントレーニング)を行う。</p> <p>○ 腰上げ ○ ステージ前転</p> <p>3 集合・挨拶・学習の流れを確認する。</p> <p>4 発表会に向けての練習を行う。</p>	<p>○ 前時に作成した技ボードを紹介して, 本時は段階的練習を意識した学習活動を行わせる。</p>	<p>〈事前に〉</p> <p>○ 自分に合った課題と解決するための学習計画を立てることができる。 (学習カード)</p>
<p>—めあて1—</p> <p>今できる技で跳び箱運動を楽しもう!</p>	<p>—めあて2—</p> <p>今できそうな技に挑戦して跳び箱運動を楽しもう!</p>	
<p>○ めあてとした技で台上に座る。または, 乗る。</p> <p>○ めあてとした技で跳び越す。</p> <p>○ めあてとした技でよりダイナミックにリズムカルに跳び越す。</p> <p>○ ピタッと着地する。</p> <p>○ 助走距離を変えて跳び越す。</p> <p>○ 踏み切り位置を変えて跳び越す。</p>	<p>○ 技を獲得するための具体的な場の工夫の助言を行う。 [例: あおむけ跳び]</p> <p>① マットにしりもち</p> <p>② 2台の跳び箱に着手して中央の障害物を跳び越す</p> <p>③ 中央の障害物の高さを変える</p>	
<p><b>情報交換する (構造化する)</b></p>	<p>○ 技を獲得するための段階的練習内容についての助言を行う。 [例: ハンドスプリング]</p> <p>① 高い着手→低い着地</p> <p>② 両足踏み切り→腰上げ</p> <p>③ 低跳び箱→中→高</p>	<p>○ バディに技のポイントを意識した的確なアドバイスをしたり, 最も効果的な場や練習内容を提案したりしているか。 (学習活動の様子)</p>
<p>5 学習のまとめと後片付けをする。</p> <p>(1) 学習カードを記入し, 学習の振り返りをする。</p> <p>(2) 3つの工夫を通して, できるようになった技の獲得を交流し, 次時の見通しをもたせる。</p>	<p>○ 技を獲得するための効果的な補助の仕方についての助言を行う。 [補助の視点]</p> <p>① 技のポイントアドバイスを見えやすい位置で</p> <p>② セーフティサポート</p> <p>③ 容易に飛び越すための支援</p>	
<p><b>報告する (関連付ける)</b></p>	<p>○ 3つの工夫と自分の学習活動の様子とをつなげて振り返るように助言する。</p> <p>○ 3つの工夫の何れかが技の獲得へとつながっていったということについて発表させる。</p>	<p>○ 自分の工夫点が伸びへとつながった点で学習カードを書いているか。 (学習カード)</p>
<p>○ 3つの工夫を通して, できるようになった技の獲得を交流し, 次時の見通しをもたせる。</p>		

10 小学校第5学年 組の場作り

めあて1

着地の距離      踏み切りまでの距離

高さ・向き

高さ・向き      フォーム

ステージ

めあて2

あおむけとび      あおむけとび

回転系      回転系

台上前転      かかえこみとび

ステージ

11 中学校第1学年 組の場作り

ステージ

マット      マット      マット      マット

スプリング系の場